

東日本大震災から6年 特別紙上座談会

復興から飛躍への道

未曾有の被害をもたらした、今でも東北の観光に影響を与えている東日本大震災から6年が経った。今後東北の観光が復興の段階を超えて飛躍するにはどうすればいいのか。これまでの取り組みと今後の展望、東北の観光の可能性などについて、東北観光推進機構の紺野純一専務理事を中心に、東北の観光を行政、運輸、旅行、宿泊の立場でけん引するキーマンに語っていただいた。

東北観光の現状と課題

紺野 東北は全国のインパウンドの伸びに比較して厳しい現状である。特にインパウンドが厳しい。東日本大震災が障害になっていると、外国からの直行便が少なく一定の都市に偏っていたこと、ローコスト・キャリア(LCC)の参入が昨年からだったことが主な要因となり、東北全体のプロモーションが必ずしもできておらず、厳しい状況が続いたと思っている。東北運輸局から見ると、東北は震災後5年かけて平成27年に52万6千人泊と震災前の平成22年の水準、50万5千人泊を回復した。一方で、全国的にはその間に2倍以上に伸びている。

直行便については、昨年仙台空港が民営化され、台湾からのLCCが仙台空港に就航したり、既就航路線が増えたりと前向きな動きがあった。東北一体での取り組みでは、海外での認知度を高めるとまだ伸びがある。東北6県それぞれがインパウンドに力を入れているが、連携して東北の認知度を高めることが大事だ。東北観光推進機構が旗振り役となっていて、東北は一体的な取り組みや、東北各県、観光関係者の取り組みもあり、平成28年は64万1千人泊とさらに2割以上増えている。

野崎 野崎支部長は震災前から東北にいたわけだが、現状をどうしているか。野崎 数字上は飛田部長がおっしゃった通りだが、大きく増えた実感がないのが現状だ。震災前は、福島空港、秋田空港でゴルフバッグを持っている韓国人の数をみて「東北にはこんな外国人が来ているのか」と思った。だが今はまだ、「インパウンドでこれだけ来ている」という象徴的な光景が見られない。数字だけではなかなか象徴的な現象が見えてくると、感覚が違ってると感じている。

震災前はインパウンドよりもアウトパウンドを一生懸命やってきた旅行業界であるが、その時に比べても東北から海外に出る人が減っている。全国の数字よりは落ちているのは事実だ。これはインパウンドが伸びないと

いうのとイコール。いずれも国際線の座席数に比例している。そこで、国際線の増便、新規就航には、アウトパウンドの増加は不可欠であり、業界としてもいろいろ取り組みを行っている。2月にはJATAとして韓

広域の移動網の充実を
アウト振興で交流促進
連携のムード強まった

いる、東北域内の観光需要が結構大きかったなどの要因で、知ったが、増便のお礼に行つても増便のお願いに変わってしまった。その時には若者層の交流促進のためにバスポート取得などに関して何か補助などできないかと併せてお願いしてき

野崎 数字上は飛田部長がおっしゃった通りだが、大きく増えた実感がないのが現状だ。震災前は、福島空港、秋田空港でゴルフバッグを持っている韓国人の数をみて「東北にはこんな外国人が来ているのか」と思った。だが今はまだ、「インパウンドでこれだけ来ている」という象徴的な光景が見られない。数字だけではなかなか象徴的な現象が見えてくると、感覚が違ってると感じている。



渡邊氏



飛田氏

ネットに関する新しい活動を行っている。例えばインパウンドについては、地域の中でインパウンドについて積極的な取り組みをしよう、旅館の掘り起こしをするべく、東北6

飛田 野崎 紺野

県全部で、各県の旅館組合と合同でインパウンドセミナーを開催した。

野崎 広域観光の視点から、東北の旅行先としての強みと弱みとは、

野崎 東北は人口減少という喫緊の大きな課題が全国各地の出で出ており、対策の大きな柱の一つが交流人口の拡大だと思

は、東北の温泉は泉質、雰囲気が多様で好きた。本論に戻る

野崎 強みは、唯とか日本一と言われるものがたくさんあることだ。花嫁であったり、船

野崎 交流人口を増やすために一番重要なことは、アクセスの向上だ。今の状況でこれだけの数をやっているのはすごいこと

野崎 交流人口を増やすために一番重要なことは、アクセスの向上だ。今の状況でこれだけの数をやっているのはすごいこと

野崎 交流人口を増やすために一番重要なことは、アクセスの向上だ。今の状況でこれだけの数をやっているのはすごいこと

「大きな景色」武器になる
四季の美しさに魂感じる

岩井

渡邊

う桜は「こ」で、各地の一番誇れるものをアピールして、それをまめて周遊ルートに乗せれば、非常にいいものになるのではないかと。地域の特色豊かな鍋を食べて回るコースや、白青赤、透明な毎日違った色の温泉に入れるコースなど、広範囲だからこそ非常に魅力あるものになる。

野崎 今の話は非常に大事だ。先般、台湾に行ったとき、春の桜と雪、秋の紅葉などは、一般的に十分分かっている。もっとアタフタ情報、その土地にあるものを教えてほしいという話があった。そういう意味で、コンテンツを掘り起こして、集約し、上手に表現することで、今までは違った切り口での魅力をアピールできる。一昨年、観光庁が広域周遊ルートを募集した。東北の周遊ルート「日本

野崎 強みは、唯とか日本一と言われるものがたくさんあることだ。花嫁であったり、船から見た桜と蔵王の景色であったり。桜と雪山が見える景色というのはいくらもなかった。訪れた人に「今までで一番感動した」と思わせられるものは、ある意味で日本一だ。

野崎 交流人口を増やすために一番重要なことは、アクセスの向上だ。今の状況でこれだけの数をやっているのはすごいこと

野崎 交流人口を増やすために一番重要なことは、アクセスの向上だ。今の状況でこれだけの数をやっているのはすごいこと

野崎 交流人口を増やすために一番重要なことは、アクセスの向上だ。今の状況でこれだけの数をやっているのはすごいこと

野崎 東北観光復興交付金の事業で、昨年秋にグーグルとタイアップしてユーチューブに「東北の秋」を放映し、880万回再生された。冬バージョンを2月27日から流しているが、初日に100万回を超えるアクセス再生があった。海外の方にも相当関心を持っていただいている。それだけ東北の四季は魅力にあふれて素晴らしい、潜在的な観光コンテンツもたくさんある。その魅力とは何だろうか。

渡邊 四季の美しさの中に、一つ一つの魂のようなものを感じている部分がある。雪に閉ざされた冬、芽吹き始める春、そして夏がやって、何人かの営みがあかっていること、心を揺さぶる力があっていい。一昨年、観光庁が広域周遊ルートを募集した。東北の周遊ルート「日本

野崎 強みは、唯とか日本一と言われるものがたくさんあることだ。花嫁であったり、船から見た桜と蔵王の景色であったり。桜と雪山が見える景色というのはいくらもなかった。訪れた人に「今までで一番感動した」と思わせられるものは、ある意味で日本一だ。

野崎 交流人口を増やすために一番重要なことは、アクセスの向上だ。今の状況でこれだけの数をやっているのはすごいこと

野崎 交流人口を増やすために一番重要なことは、アクセスの向上だ。今の状況でこれだけの数をやっているのはすごいこと

野崎 交流人口を増やすために一番重要なことは、アクセスの向上だ。今の状況でこれだけの数をやっているのはすごいこと

野崎 当然のことながら、落葉樹が多くて紅葉が美しいが、新緑もきれいだ。また、雪も素晴らしい。山形の肘折温泉の雪掘り(地面出し) コンテストの人にとっては、「こんなに4月も雪降りやがって」と言っているのが観光資源になっている。そういうものを考えれば、まだまだ深掘りできる観光資源はたくさんある。

野崎 東北観光復興交付金の事業で、昨年秋にグーグルとタイアップしてユーチューブに「東北の秋」を放映し、880万回再生された。冬バージョンを2月27日から流しているが、初日に100万回を超えるアクセス再生があった。海外の方にも相当関心を持っていただいている。それだけ東北の四季は魅力にあふれて素晴らしい、潜在的な観光コンテンツもたくさんある。その魅力とは何だろうか。

野崎 強みは、唯とか日本一と言われるものがたくさんあることだ。花嫁であったり、船から見た桜と蔵王の景色であったり。桜と雪山が見える景色というのはいくらもなかった。訪れた人に「今までで一番感動した」と思わせられるものは、ある意味で日本一だ。

野崎 交流人口を増やすために一番重要なことは、アクセスの向上だ。今の状況でこれだけの数をやっているのはすごいこと

野崎 交流人口を増やすために一番重要なことは、アクセスの向上だ。今の状況でこれだけの数をやっているのはすごいこと

野崎 交流人口を増やすために一番重要なことは、アクセスの向上だ。今の状況でこれだけの数をやっているのはすごいこと

